

# 今年もドレスコードで参集

## マイシン新年会

これからも皆で一致団結し良い会社にしていくと呼びかけた社長



ひまわり便の㈱マイシン（辻直樹社長、愛知県豊橋市）は4日、豊橋市内のホテルで新年会を開催し、およそ170名が参加した。同社では4年前まで、これまで忘年会を開催してきたが、3年前から方針転換し、新年会を行うこととした。参加にあたっては「スーツ着用。スーツがなければ勝負服でも可」というドレスコードを設け、意識の共有を図っている。

辻社長は冒頭のあいさつで、「働き方改革を進めるにあたり会社がどんどん変わりつつある。労働時間も短くなり、体も楽になったと思う。しかし2020年はそんなに簡単にはいかない。時短や運賃値上げなどお客様にご無理をお願いしているということはお客様にとっては決してプラスではない。その反動が迫ってくるのをひしひしと感じ

ている。それを克服するためにには既存のお客様に対してあいさつ、品質で他者と比べられる余地を与えないことだ。もし品質が悪ければ他社と相見積もりを取られてしまう。今一度立ち居振る舞いを見直し、自分自身の行動を進化させていけば2020年にどんな波が訪れようとも必ず乗り切れると信じている。ぜひとも今日のこの日をスタートとして今年1年を頑張っていきましょう」



ダイナミックな解体ショーで大盛り

と力を込めた。乾杯の音頭では、大前智・統括営業本部長が、ひまわり便マイシンの益々の発展と参加者の健康を祈願して声高らかに乾杯の発声をし、集まった仲間たちと交流を深めた。アトラクションでは、「鮪達人」によるマグロ解体ショーが披露され、重さ43キログラムの本マグロが登場。解体に当たり、辻社長による入刀セレモニーやマグロの生態に関するクイズも行われるなど、ゲスト参加型のイベントで大いに盛り上がった。解体後には参加者全員にマグロ寿司が振舞われた。さらに、馬のマスクにマッチョなボディがトレードマークの芸人「ウマッチョ」が2年ぶりに会場に現れ、音楽に合わせて繰り出す予測不能なコントパフォーマンスに会場は終始笑いが巻き起こっていた。

と力を込めた。乾杯の音頭では、大前智・統括営業本部長が、ひまわり便マイシンの益々の発展と参加者の健康を祈願して声高らかに乾杯の発声をし、集まった仲間たちと交流を深めた。アトラクションでは、「鮪達人」によるマグロ解体ショーが披露され、重さ43キログラムの本マグロが登場。解体に当たり、辻社長による入刀セレモニーやマグロの生態に関するクイズも行われるなど、ゲスト参加型のイベントで大いに盛り上がった。解体後には参加者全員にマグロ寿司が振舞われた。さらに、馬のマスクにマッチョなボディがトレードマークの芸人「ウマッチョ」が2年ぶりに会場に現れ、音楽に合わせて繰り出す予測不能なコントパフォーマンスに会場は終始笑いが巻き起こっていた。

令和2年 42期 株式会社マイシン新年会

